

<b>Title</b>	第4回「苦難を通し、壁を越えて、次の世代へ（仮題）」（2016年2月29日-3月1日開催予定）に向けて（総合研究所 News：東日本大震災国際進学シンポジウム 2014 年度報告）
<b>Author(s)</b>	木下，元
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24No.3, 2015.3 :71-72
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=5284">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=5284</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

## 東日本大震災国際神学シンポジウム 2014年度報告

第4回「苦難を通し、壁を越えて、次の世代へ(仮題)」  
(2016年2月29日－3月1日開催予定)に向けて

### シンポジウム開催の経緯

2011年の東日本大震災の被災に対して、「日本の教会を支援するために何をしたらよいか」というフラー神学大学院からの提案があり、東京基督教大学、聖学院大学など大学と東日本大震災救援キリスト者連絡会が実行委員会を結成し、教派教団を超えて神学的に検討する運動体を作る契機となった。そうして、教会と信仰の再建のために2012年から2014年までに年1回計3回の国際神学シンポジウムが開催された。

メインテーマとして「いかにしてもう一度立ちあがるか——これからの100年を見据えて」が継続され、2016年春に2年ぶりの第4回国際神学シンポジウムが開催される予定である。

## シンポジウムの目的

このシンポジウムが、目指していることは第一に、キリスト教諸教派がその違いを超えて、教会と信仰の再建に協力して取り組むための神学的な話し合いの場を作り出すということである。

また、第二にシンポジウム開催を軸に、東日本大震災を聖書的、神学的に捉えることにある。この苦難の中で神が何をしておられるのか、何を語りかけておられるのかを考察し、わかりやすい言葉で語り、諸教会に伝え、仕えていくことである。

2015年度開催に協力予定の団体は、青山学院大学、聖学院大学、東京基督教大学などの学校、日本基督教団、日本バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、日本福音同盟、DRCnet（東日本大震災救援キリスト者連絡会）などの多数団体に及び、主催3団体（DRCnet、聖学院大学、東京基督教大学）、共催2団体（フラー神学大学院、ホイートン大学）、協賛16団体、後援12団体となっている。過去3年間の活動を通して、いままで互いに面識のなかったさまざまな団体のリーダーたちと信頼関係を育んできたが、さらなる共働が続けられることを目指している。

## 2014年度報告

各団体、個人からの報告をもとに、シンポジウムのテーマや講師検討を行っている。多くの団体が集まっていることから、結論はすぐに出るものではないが、深い議論の末、下記の主題と副題にまとまりつつある。多数団体の調和にはプロセスが必要であり、これが信頼を固めていくものと考ええる。

### <実行委員会>

第1回（7月7日）、第2回（9月19日）、第3回（11月21日）、第4回（1月9日）、第5回（3月19日）  
主メンバー：藤原淳賀（聖学院大学）、榊原 寛（お茶の水クリスチャン・センター）、中台孝雄（災害救援キリスト者連絡会）、伊藤天雄（東京基督教大学）、品川 謙一（日本福音同盟）、松下瑞子（DRCnet）、木下 元（聖学院大学）

### <代表者会議>

第1回（5月16日）、第2回（10月24日）、第3回（1

月9日）

## 2015年度の計画

2015年度は、2年ぶり4回目のシンポジウムということで、主内容としては過去3年間の総括として「この時代、この地でキリストを表わす——キリストさんとしての教会（仮題）」を2016年2月29日（月）、3月1日（火）の2日にわたって開催する予定である。

詳細なプログラムに関しては、これから約1年をかけて、実行委員会、代表者会議にて具体的検討をしていくこととなる。

## シンポジウムの案内と協賛・後援の依頼

東日本大震災国際神学シンポジウム実行委員会では、シンポジウム開催にあたり、費用を捻出するために、各団体に協賛また後援をお願いすることとなる。ご協力をお願い申し上げます。

（文責：木下 元 [きのした・はじめ] 聖学院大学  
研究支援課長・東日本大震災国際神学シンポジウム実行委員）